

『1.5°Cに向けて、排出削減目標と目標達成のための取り組み (SBT)』 2025/7/9

# Transition Towards a Sustainable Planet.

CO<sub>2</sub>の見える化で社会を変える

環境と経済の両立を通して、循環型社会および脱炭素社会の構築に貢献します。

<b>会社名</b>	株式会社ウェイトボックス
<b>設立</b>	2006年2月2日
<b>拠点</b>	本社：愛知県名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル16F TEL：052-265-5902 支社：東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル3階 0 Club内
<b>資本金</b>	2億2100万円 ※資本準備金含む（2023年4月時点）
<b>代表取締役</b>	鈴木修一郎
<b>従業員数</b>	38名
<b>事業内容</b>	気候変動を中心とした環境コンサルティングサービス ・国際規格に対応した情報開示支援 ・製品カーボンフットプリント算定事業 ・クレジット・環境価値創出評価事業 ・セミナーや講演会の実施 等
<b>主要株主</b>	鈴木修一郎（創業者） ENEOSイノベーションパートナーズ合同会社 三井住友信託銀行株式会社 NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社 みずほキャピタル株式会社 株式会社りそなホールディングス あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 株式会社NTTデータ



ウェイトボックスでは、大きく3つの枠でサービスを提供しています。



## 組織の排出量把握・情報開示支援事業（組織単位）

ウェイトボックスでは、サプライチェーン排出量の把握、削減目標の設定、削減活動の実施、取り組みの情報開示を含む、カーボンマネジメントサイクルを回すことが重要と考えており、それぞれのステップに対応したサービスをご提供しています。



## 製品単位の環境影響評価事業（製品カーボン・フットプリント、LCA等）

商品・サービス毎の環境負荷に関する評価やCFP(カーボンフットプリント)の算出を行います。また、自社の商品・サービスの付加価値向上を目的としたカーボン・オフセット認証取得など、個別商品、サービスやイベントに関する算定・認証を支援します。



## 環境価値創出事業（プロジェクト単位）

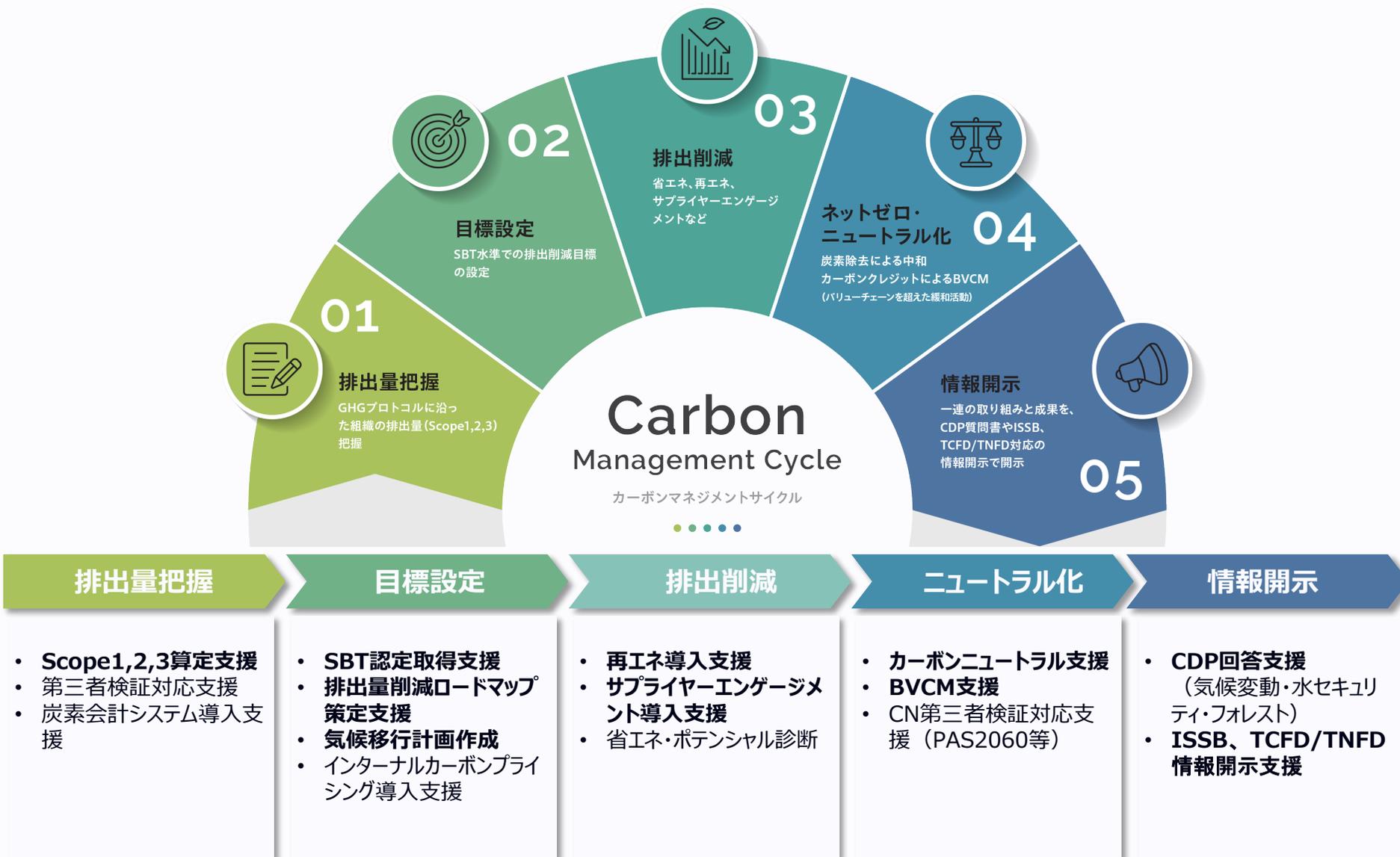
目的・用途に応じて最適な再エネ証書とクレジットの調達と販売を行います。また、クレジット創出のためのプロジェクト登録やモニタリング報告の支援など、クレジット化に向けてトータルでサポートします。



## アドバイザリー

環境分野全般のご相談対応やアドバイスなどを行います。

企業の脱炭素化を進めるうえで、弊社ではカーボンマネジメントのサイクルに沿った取り組みを行うことを推奨しています。



## CDP2024回答結果分析

### 『1.5℃に向けて、排出削減目標と目標達成のための取り組み (SBT)』

# Executive Summary

まとめ

0

分析対象質問

モジュール7 環境パフォーマンス - 気候変動 排出削減目標関連質問 (7.53、7.53.1、7.53.2)、ネットゼロ目標関連質問(7.54.3)等

1

排出削減目標設定状況

回答企業の87%が排出削減目標設定

2

SBTi認定取得状況

総量目標回答企業の224社(21%)、原単位目標回答企業の17社(7%)が認定あり。認定取得企業の8割以上が気候移行計画を持っている

3

総量目標詳細 (野心度、長期目標、Scope3目標、進捗率)

特にSBTi認定無しの企業において、野心度引き上げ、長期目標・Scope3目標の設定が課題。削減の進捗率がある企業はScope1,2 : 89%、Scope3 : 66%

4

ネットゼロ目標詳細 (Scope、組織範囲、目標年、中和/BVCM)

特にSBTi認定無しの企業において、Scope3まで含めた目標設定が課題。

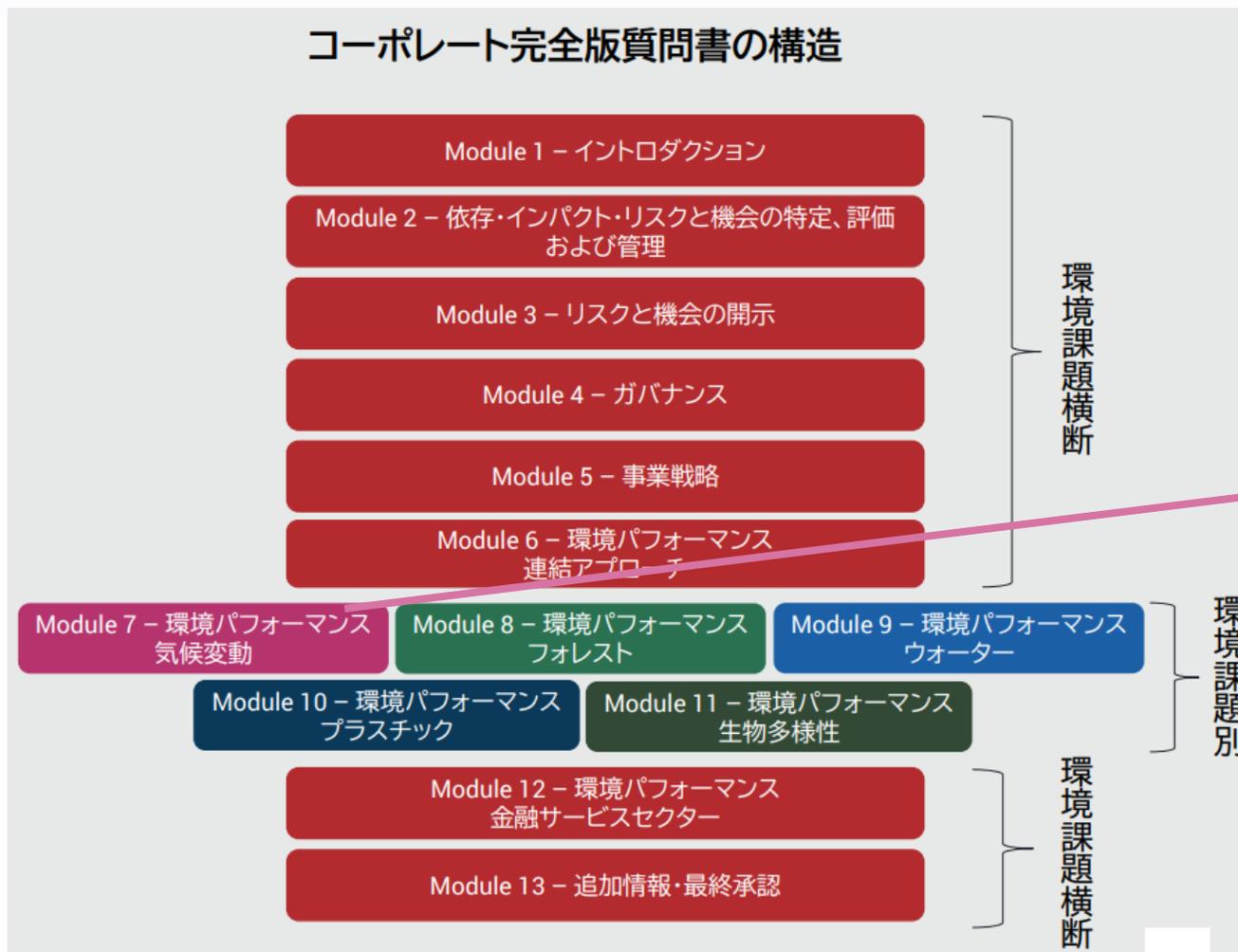
5

SME/セクター別：中小企業、金融サービスセクターの目標設定状況

中小企業の61%が気候関連目標設定。金融サービス35社がポートフォリオ目標設定

## 00 分析対象質問

### I モジュール7 環境パフォーマンス- 気候変動の排出削減目標、ネットゼロ目標関連質問を対象に分析



#### 7.53 報告年に有効な排出量目標はありましたか

7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください

7.53.2 排出の原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください

#### 7.54 その他の気候関連目標はありましたか

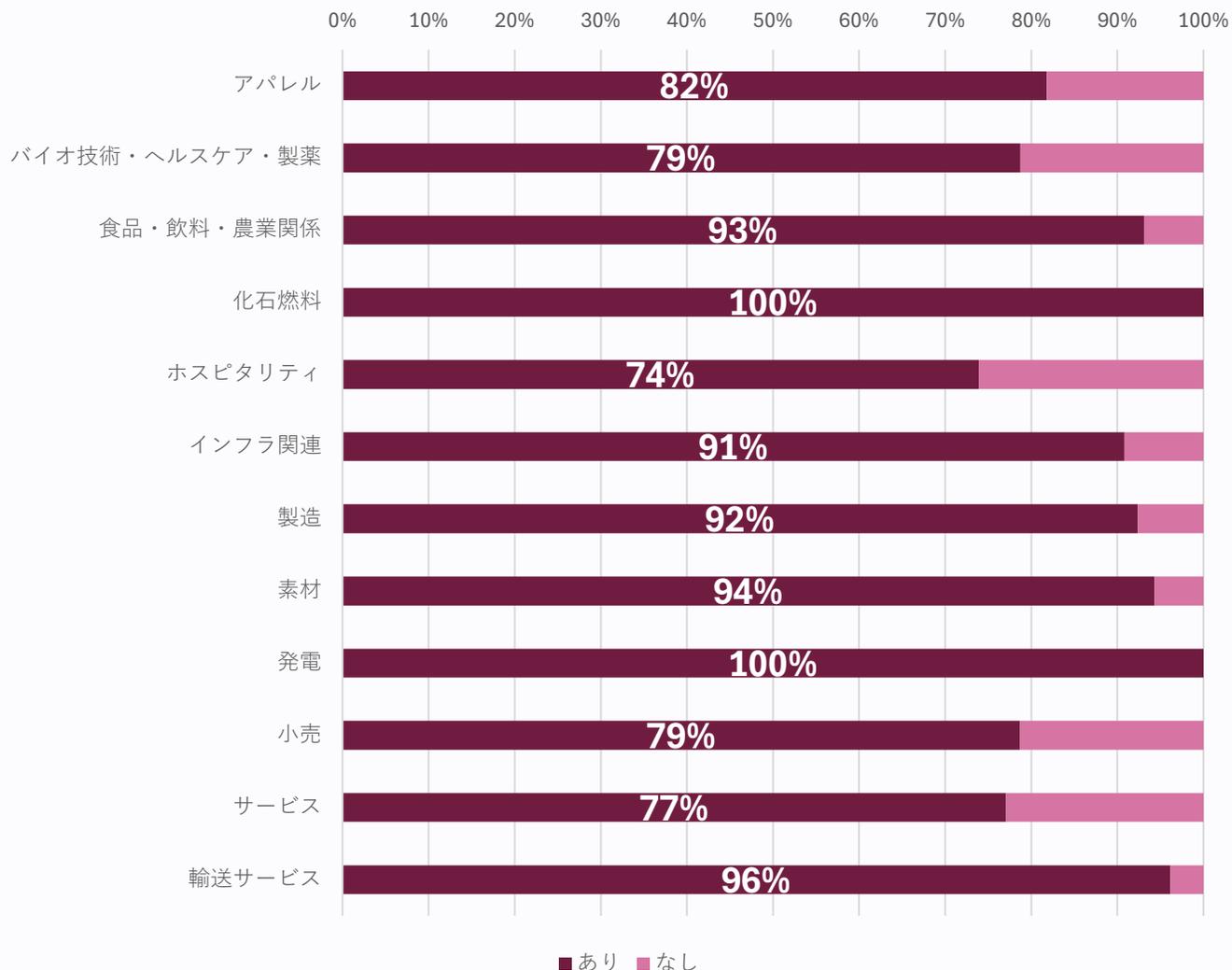
7.54.3 ネットゼロ目標の詳細を記入してください

この他に以下も対象とした。

SME版 20.16 報告対象年に適用した排出量またはその他の気候関連目標はありましたか。

## 回答企業の87%が排出削減目標を設定。セクターごとに多少ばらつきはあるが全セクターで7割を超える

▶ 7.53 報告年に有効な排出量目標はありましたか。



排出削減  
目標あり

87%

1,167社

- セクター別では、化石燃料、発電100%、続いて輸送サービス96%、素材94%、食品・飲料・農業関係93%、製造92%、インフラ関連91%が特に高いが、他のセクターでも7割を超える
- 目標種類としては、総量目標が多い。1,167社のうち1,072社が総量目標あり（他の目標との複数回答も含む）

回答企業のうち「総量目標」「原単位目標」「ポートフォリオ目標」いずれかの目標を設定している企業  
n = 1341 (回答企業数)

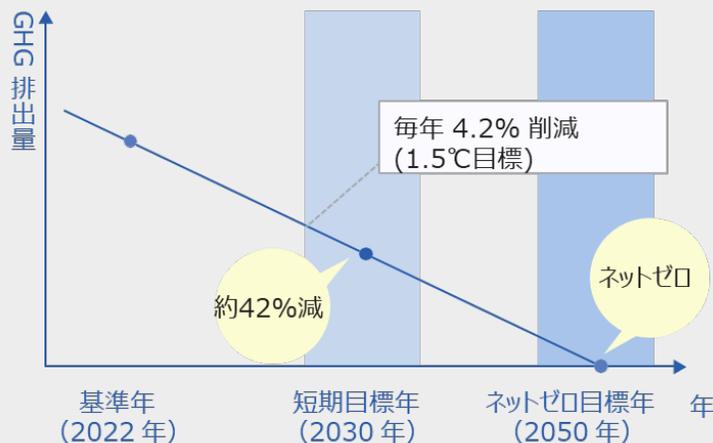
### I 排出削減目標がある企業のうちSBTi認定目標がある企業は、総量目標では224社(21%)、原単位目標では17社(7%)

#### SBT (Science Based Targets) とは？

産業革命時期比の気温上昇を2℃を十分に下回り1.5℃に抑えるために、気候科学(IPCC)に基づく削減シナリオと整合した中長期の削減目標。

2030年付近までの約半減を宣言する**短期目標**と、2050年以前までのネットゼロを宣言する**ネットゼロ目標**がある。

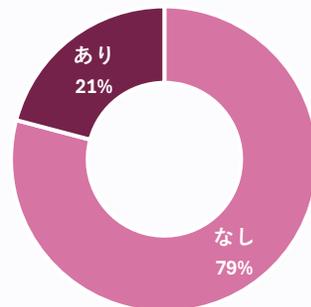
SBTイニシアティブが企業の目標を審査し認定を与えている。



日本企業の認定数は年々倍増ペースで2025年1月末時点の累計認定数1,435社 (うち中小企業1,165社)

出典：環境省・経済産業省・農林水産省  
グリーンバリューチェーンプラットフォーム

#### ▶7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください



n = 1072  
(総量目標回答企業数)

# 224社

総量目標あり企業のうち  
SBTi認定目標あり

審査中 **41社**

認定数多いセクターは  
**製造82社**  
**サービス46社**  
**インフラ34社**  
**素材20社**

#### ▶7.53.2 排出の原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。



n = 235  
(原単位目標回答企業数)

# 17社

原単位目標あり企業の  
うちSBTi認定目標あり

審査中 **3社**

認定数多いセクターは、  
**製造8社**  
**サービス・素材・**  
**運輸2社**

### SBTi認定目標あり企業の気候移行計画設定状況 - 8割を超える企業が気候移行計画あり

#### 気候移行計画とは？

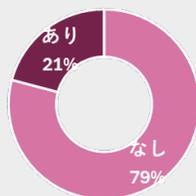
「組織が既存の資産、運用、およびビジネスモデル全体を、最新かつ最も野心的な気候科学の推奨事項に沿った軌道に向けて方向転換する方法を明確に概説する期限付きの行動計画」

(CDP)

- ✓ SBTiネットゼロ基準v2.0改定案では、目標審査から12か月以内に、気候移行計画の策定、公開を求める案あり

**8割以上**の企業で目標とセットで計画も立てられている。  
CDPでは信頼できる気候移行計画の原則、要素を提示している。これらを満たしているかは要確認。

7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください



n = 1072  
(総量目標回答企業数)

# 224社

総量目標あり企業のうち  
SBTi認定目標あり

審査中 **41社**

7.53.2 排出の原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。



n = 235  
(原単位目標回答企業数)

# 17社

原単位目標あり企業のうち  
SBTi認定目標あり

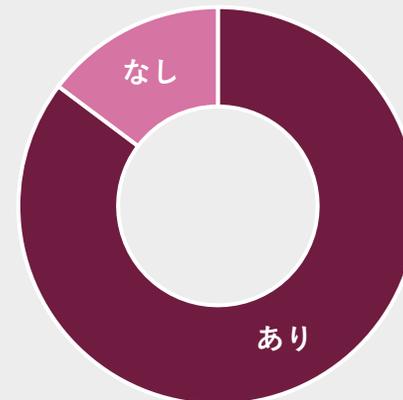
審査中 **3社**

7.53.1、7.53.2でSBTi認定目標ありと回答した企業のうち、5.2で気候移行計画ありと回答した企業上：n=224(SBTi認定総量目標あり企業数)  
下：n=17(SBTi認定原単位目標あり企業数)

▶5.2貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。

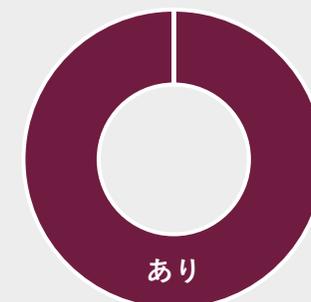
# 85%

SBTi認定目標あり企業のうち気候移行計画あり  
(総量)



# 100%

SBTi認定目標あり企業のうち気候移行計画あり  
(原単位)



## I 排出削減目標のベストプラクティス : (SBTi認定目標 or SBTi水準目標) + 長期目標(ネットゼロ含む) + Scope3目標

	SBTiルート	CDPルート
<b>Scope1,2目標</b>		
組織範囲	SBTi認定目標あり	組織全体
カバー率 除外		排出量の95%以上をカバー 重大な除外がない
目標年		目標設定年から5~10年先の目標
進捗率	進捗率あり (0より大きい)	
野心度	1.5℃整合	年率4.2%削減
長期目標	SBTi認定ネットゼロ目標あり もしくは ネットゼロ目標あり、かつ、排出量の95%以上をカバー する、目標設定年11年以上先の長期目標あり	ネットゼロ目標あり、かつ、排出量の95%以上をカバー する、目標設定年から11年以上先の長期目標あり
<b>Scope3目標</b>		
Scope3目標	SBTi認定Scope3目標あり もしくは Scope3が総排出量の40%未満	Scope3が総排出量の40%以上の場合、Scope3 の66%以上をカバーするScope3目標あり

※CDPルートではリーダーシップレベル3点満点中2.75点が最大

## 目標の野心度は、SBTi認定取得企業では1.5°C水準75%、認定なし企業では4.2%/年以上は43%に留まる

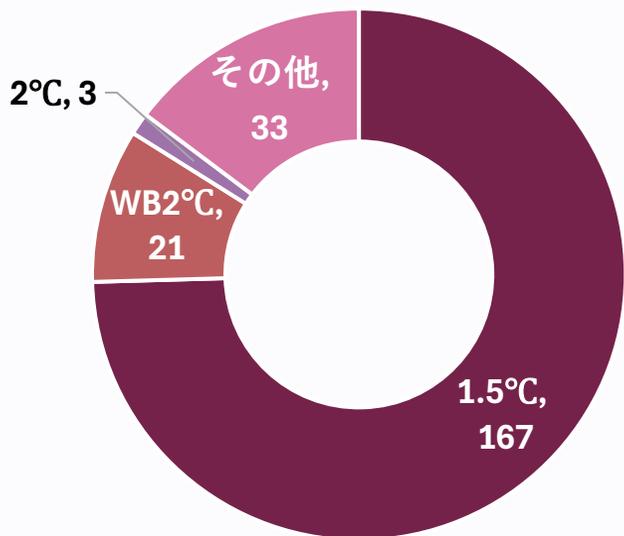
▶7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください

### SBTiルート

SBTi認定あり企業の  
Scope1,2目標  
野心度 1.5°C水準

# 75%

WB2°C 9%、2°C 1%



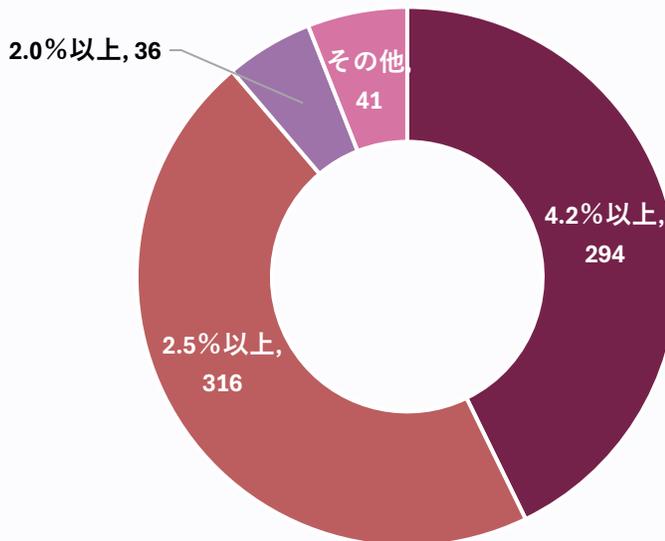
n = 224  
(総量Scope1,2短期目標あり・SBTi認定あり企業数)

### CDPルート

SBTi認定無し企業の  
Scope1,2目標  
野心度 4.2%/年以  
上削減

# 43%

2.5%/年以上 46%、2.0%/年以上 5%



n = 687  
(総量Scope1,2短期目標あり・SBTi認定なし企業数)

- SBTi認定済企業でもWB2°C水準、2°C水準のままの企業が若干残っている。
- SBTi認定無し企業では削減率2.5%/年企業が最も多く、野心度の引き上げが期待される。

## 1 ネットゼロ目標回答企業は56%、うちSBTiネットゼロ認定は49社(8%)、Scope1,2長期目標回答は42%に留まる

### ネットゼロ目標

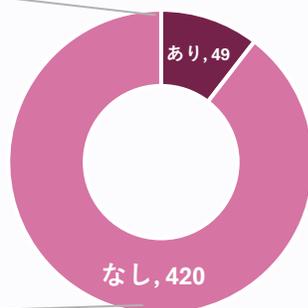
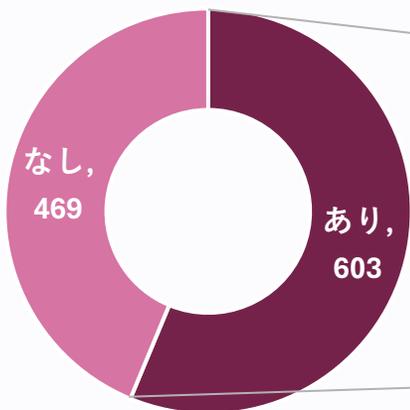
#### ▶7.54.3 ネットゼロ目標の詳細を入力します

総量目標ありのうち  
ネットゼロ目標あり  
企業 (7.54.3で  
ネットゼロ目標詳細  
を回答)

56%

ネットゼロ目  
標ありのうち  
SBTiネットゼ  
ロ認定あり

8%  
49社



7.53.1で総量目標ありと回答した企業のうち、  
7.54.3でネットゼロ目標ありと回答した企業  
n = 1072 (総量目標回答企業数)

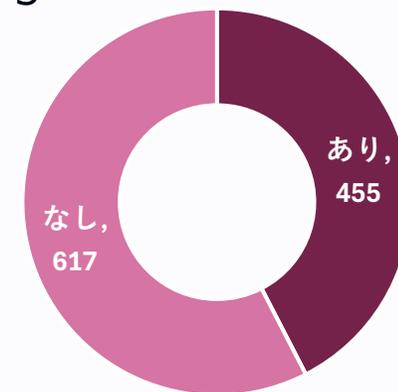
7.54.3でネットゼロ目標ありと回答し、  
SBTiネットゼロ認定ありと回答した企業  
n = 603 (ネットゼロ目標あり企業数)

### 長期目標

#### ▶7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況 の詳細を記入してください

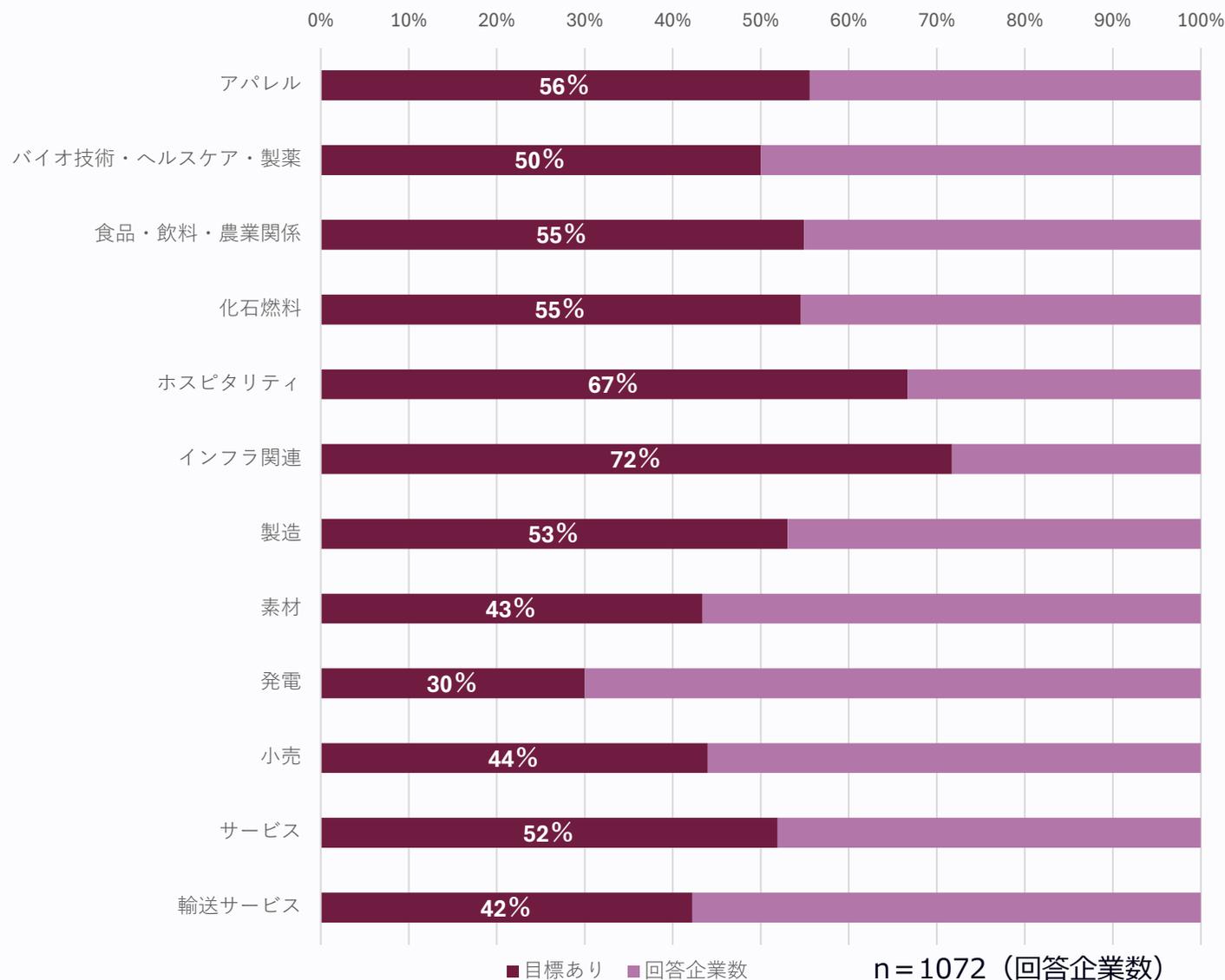
総量目標ありのうち  
Scope1,2関連  
長期目標あり企業  
(Scope1・2単独、  
Scope1+2、  
Scope1+2+3  
複合)

42%



n = 1072  
(総量目標回答企業数)

Scope1,2関連目標は全ての企業が設定。一方、Scope3関連目標は51%に留まる。



▶7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください

総量目標ありのうち  
Scope3関連目標あり (Scope3単独、cope1+2+3複合)

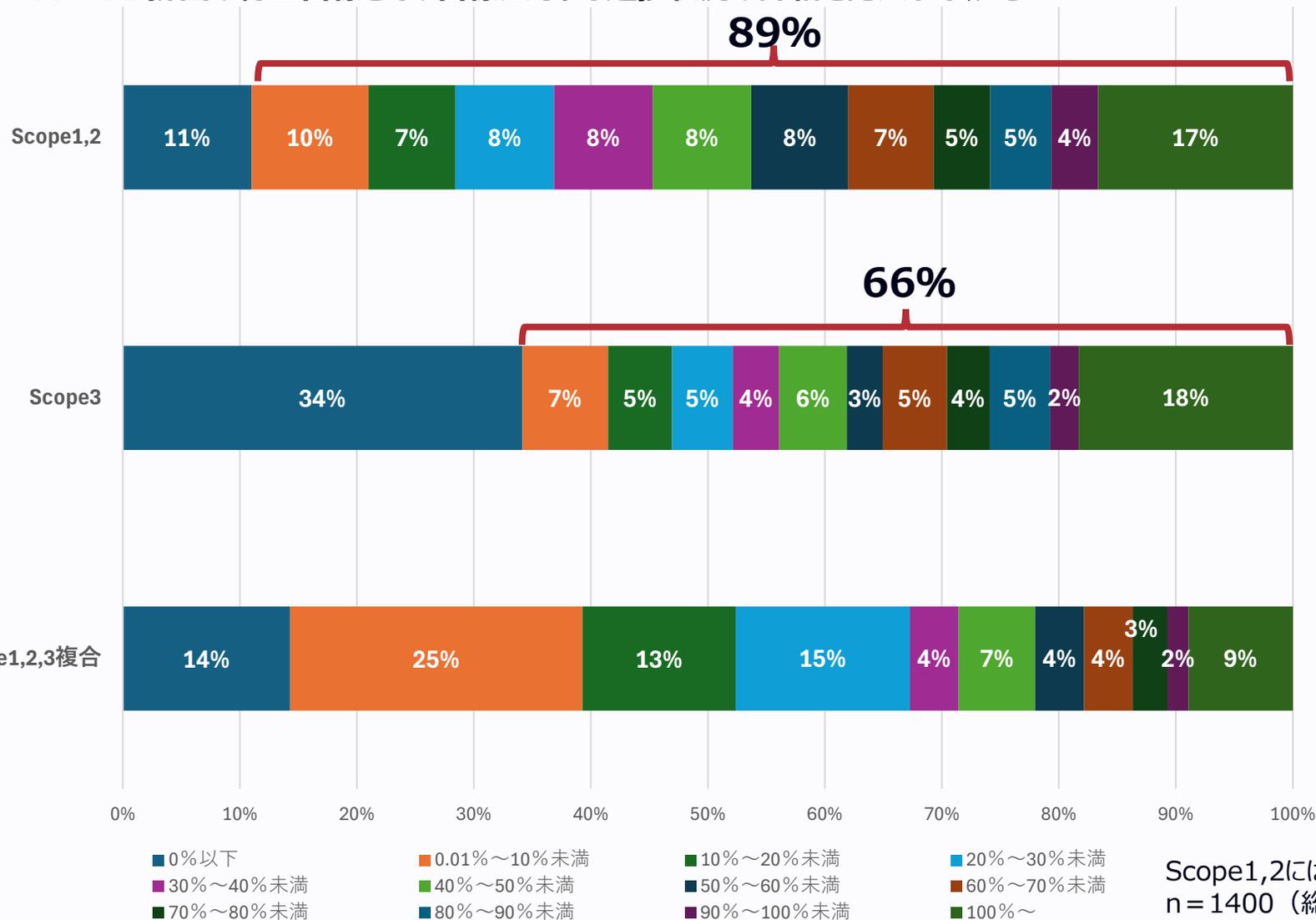
# 51%

- 総量目標を設定している企業の**全て**がScope1,2関連目標を設定
- Scope3目標は**約半数**が設定
- Scope3目標設定割合が高いのは、インフラ関連72%、ホスピタリティ67%、アパレル56%、食品・飲料・農業関係、化石燃料55%

### 03 総量目標の詳細 (7.53.1) -進捗状況

Scope1,2目標は89%が進捗あり。一方、Scope3目標は66%に留まる。

▶ 7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください



Scope1,2 :

- **進捗あり 89%** (進捗0%以下 11%)
- **達成済(100%~) 17%**
- 進捗率0.01%~10%未満、20%~30%未満、30%~40%未満、40%~50%未満、50%~60%未満が多い

Scope3 :

- **進捗あり 66%** (進捗0%以下 34%)
- **達成済(100%~) 18%**
- 進捗率0.01%~10%未満、40%~50%未満、10%~20%未満、20%~30%未満、60%~70%未満、80%~90%未満が多い

Scope1,2にはScope1、Scope2単独目標も含む  
n = 1400 (総量目標回答数※複数回答あり)

## 目標達成に最も貢献した排出削減活動例

▶7.53.1 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください

### Scope1,2削減活動の例

#### 再エネ電力の導入

追加性の高い導入方法から優先的に検討



- 自家発電
- オンサイトPPA
- 直送PPA
- 物理的PPA
- VPPA



- 電力事業者との小売契約
- エネルギー属性証明書

CDP2024スコアリング基準を基にウェイトボックス作成

### Scope3削減活動の例

#### サプライヤーエンゲージメント

サプライヤーへの働きかけを開始

情報収集	排出量データ、目標情報等の収集
キャパシティビルディング	トレーニング、サポート、ベストプラクティス等の提供
金銭的インセンティブ	表彰制度等
イノベーションとコラボレーション	共同開発、共同投資等

CDP2024 5.11.7「環境問題に対する貴社のサプライヤーの取り組みについて、さらに詳しくご記入ください」の選択肢から主なものを抜粋

## I ネットゼロ目標のベストプラクティス

### 💡 ネットゼロ目標とは

- Scope1,2,3排出量をゼロ、または1.5℃シナリオまたはセクター経路において、グローバルまたはセクターレベルでネットゼロに到達することと整合する残留レベルまで削減
- ネットゼロ目標日における残留排出量と、目標達成後に大気中に放出されるGHG排出量を中和すること

(SBTiネットゼロ基準)

ネットゼロ目標ベストプラクティス	
Scope	Scope1,2,3
組織範囲	組織全体
目標年	2051年より前
短期目標	SBTi水準の目標あり
中和	必須
BVCM	推奨 (任意)

CDP2024スコアリング基準を基にウェイトボックス作成

### ▶ 7.54.3 ネットゼロ目標の詳細を記入してください

ネットゼロ目標回答企業 **646社**

うちSBTi認定取得企業 **51社 8%**

ネットゼロ目標あり企業のうちScope1,2,3を範囲とする目標を設定している企業

**41%**



ネットゼロ目標あり企業のうち組織全体を範囲とする目標を設定している企業

**90%**



ネットゼロ目標あり企業のうち目標年が2051年以前の企業の割合

**100%**

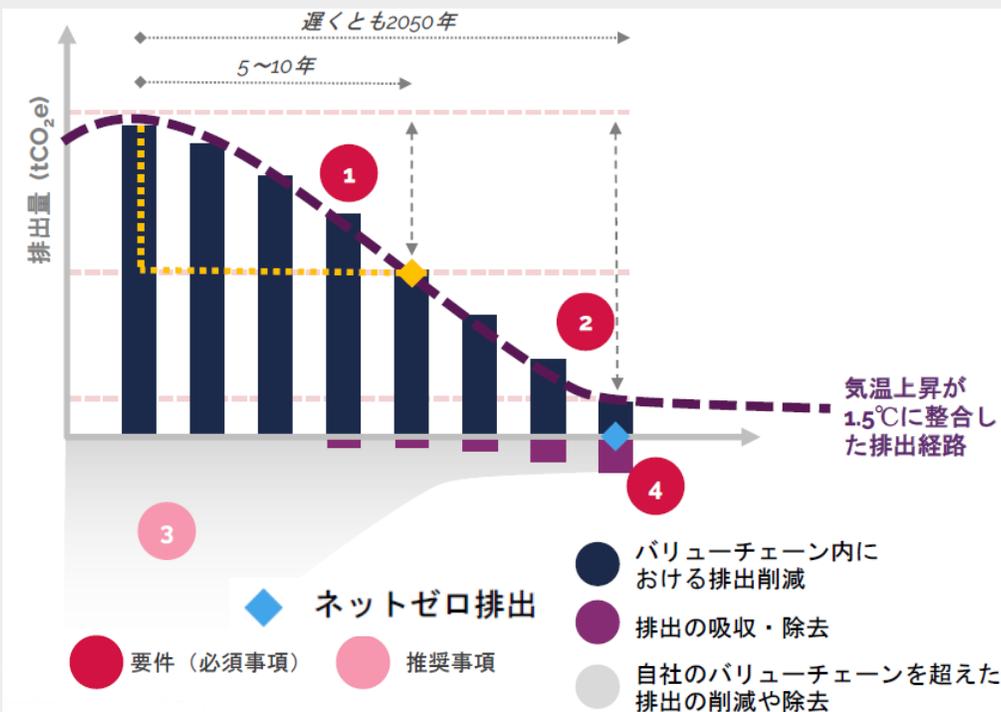


n = 646 (ネットゼロ目標回答企業数)

## 中和予定の企業は7割近く。一方、BVCM予定の企業は2割に留まる

### 中和とBVCMとは

- 4 **中和 (Neutralization)**  
企業が大気中から炭素を除去し、永久に貯蔵することで、削減されずに残っている排出の影響を相殺するためにとる措置
- 3 **BVCM (Beyond value chain mitigation : バリューチェーンを超えた緩和)**  
企業のバリューチェーンの外に位置する緩和行動や投資

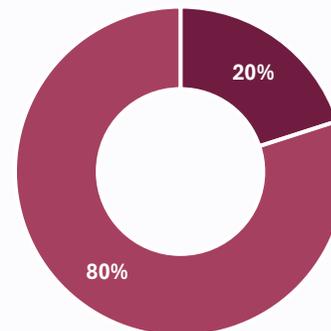
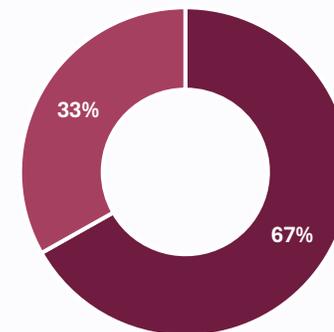


出典：CDPジャパン「2023年CDP気候変動質問書回答に向けて(補助資料)」

### ▶7.54.3 ネットゼロ目標の詳細を記入してください

ネットゼロ目標あり企業のうち  
残余排出量を中和予定

67%

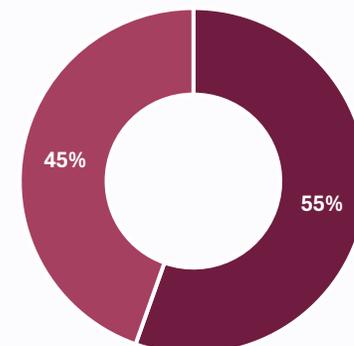


ネットゼロ目標あり企業の  
のうちBVCMの計画あり

20%

ネットゼロ目標あり企業の  
のうち中和やBVCMに炭  
素クレジットを利用予定

55%



n = 646 (ネットゼロ目標回答企業数)

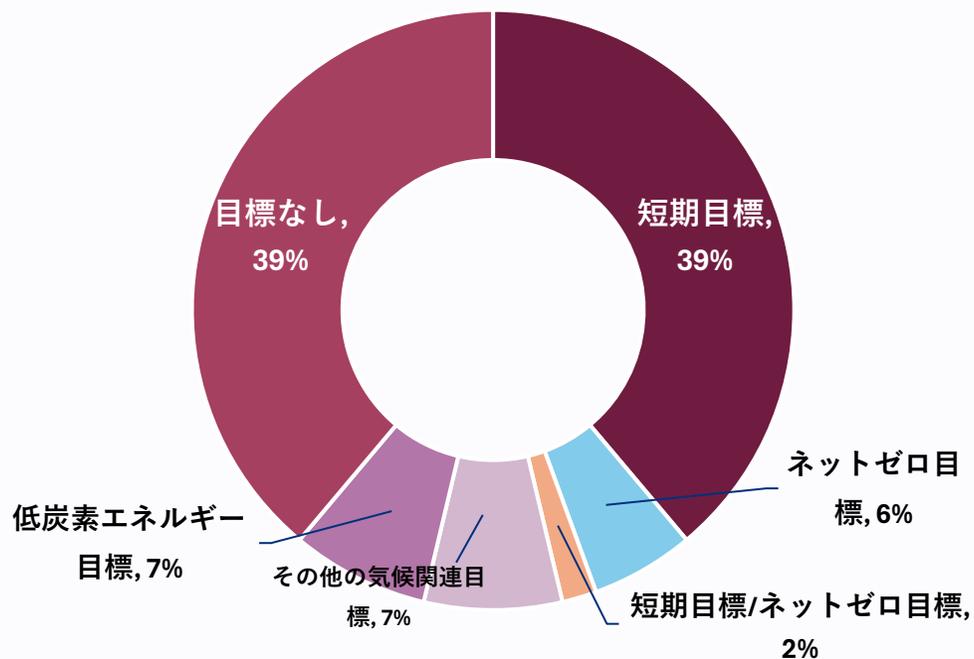
## 中小企業の61%が気候関連目標を設定。金融サービス企業のうち35社(38%)がポートフォリオ目標設定。

### 中小企業気候関連目標

▶20.16 報告対象年に適用した排出量またはその他の気候関連目標はありましたか。

排出量またはその他の  
気候関連目標あり

**61%**



n = 54 (回答企業数)

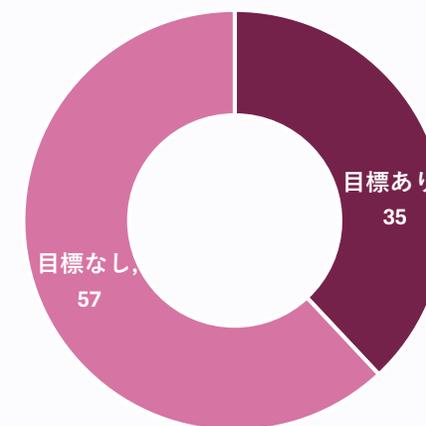
### 金融サービスポートフォリオ目標

▶7.53 報告年に有効な排出量目標はありましたか。

金融サービス企業のうち  
ポートフォリオ目標あり

**35社**

**38%**



n = 92 (金融サービス回答企業数)

ポートフォリオ目標：  
投融資、保険引受ポートフォリオに関連する排出量  
(Scope3カテゴリ15) の削減目標